

# お知らせ

第1回 トンボ池等湿地環境再生検討会(仮称)を開催します。

## 1. 概要

岐阜県笠松町の木曾川北派川に位置するトンボ池周辺には過去には多くのトンボや沈水植物の生息・生育が確認されていました。しかし近年、冬の渇水期には水枯れ、底泥の堆積、外来魚等の侵入などの影響でトンボの種類・数が減少するなど、生息・生育環境の悪化がみられています。

トンボ池等の自然を復活・保全するために市民、行政、及び学識経験者が協働して対策を検討し再生実現を図る「トンボ池等湿地環境再生検討会(仮称)」を設立することとしました。

2. 日時 平成21年6月22日(月) 13:30～16:00

3. 場所 集合場所・・・トンボ天国駐車場  
・トンボ池(現地) 13:30～  
・国土交通省 水辺共生体験館 セミナールーム 14:10～  
〒501-6021  
岐阜県各務原市川島笠田町(河川環境楽園内)  
TEL:058-251-1463

4. 主な議題 トンボ池等周辺の現状と課題について

5. 資料 別紙のとおり

6. 解禁 指定なし

7. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ

8. その他 本検討会は公開で行います。  
カメラ等の撮影は、座長の冒頭挨拶までとさせていただきます。  
貴重種情報を扱う場合は、退室していただく場合があります。  
座席に限りがあるため、満員の場合は入場をお断りすることがありますのでご了承下さい。

9. 問合せ先 国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所  
河川環境課長 白江 健造 電話 058(251)1378

# トンボ池の再生について

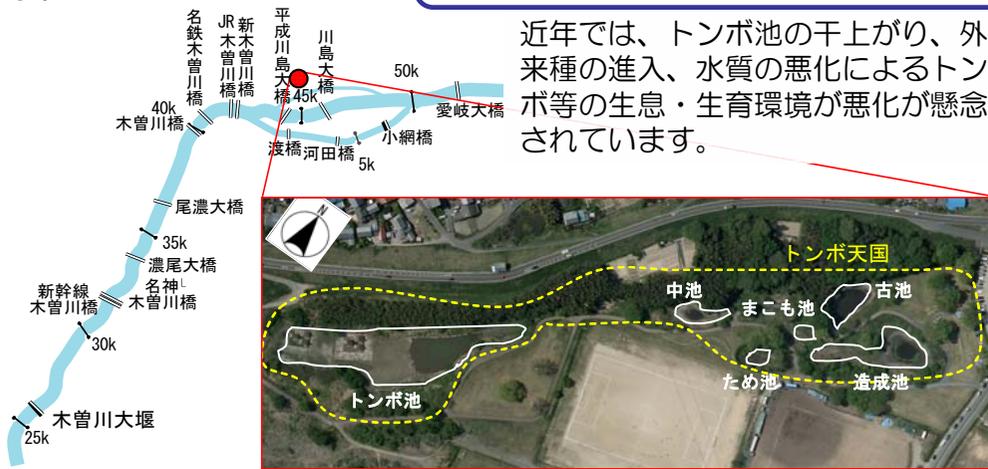
## トンボ池の湿地環境について

トンボ天国は岐阜県笠松町の  
新境川の流がが変わり、かつ  
ての川が池として高水敷に残  
された池群として点在する地  
域の総称です。  
これら池群にはトンボの種数  
が多く、中でも地域のシンボ  
ルであるトンボ池には、トン  
ボ類をはじめとする多様な水  
生生物が生息・生育していま  
す。



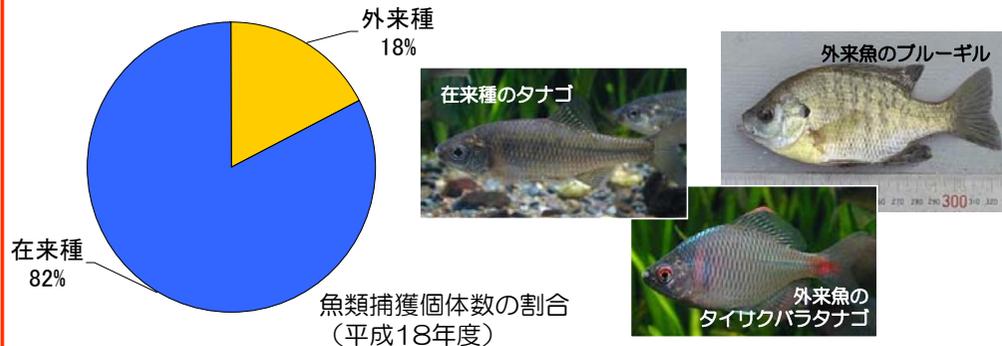
かつてトンボ池にはオニバス、ベニイト  
トンボ等、絶滅が危惧される貴重な動植  
物が確認される豊かな自然がありました。

近年では、トンボ池の干上がり、外  
来種の進入、水質の悪化によるトン  
ボ等の生息・生育環境が悪化が懸念  
されています。



## 問題：外来生物の侵入と生物相の変化

近年トンボ天国の池群では  
ブルーギルやアメリカザリガニ等の外来生物が侵入・繁殖し、在来のトン  
ボ類や魚類等の生息環境が脅かされていると考えられます。  
また、外来魚のタイリクバラタナゴと日本在来のタナゴ類が交雑し、純粋  
な日本の在来種が減少していると考えられています。



## 問題：トンボ池の干上がり

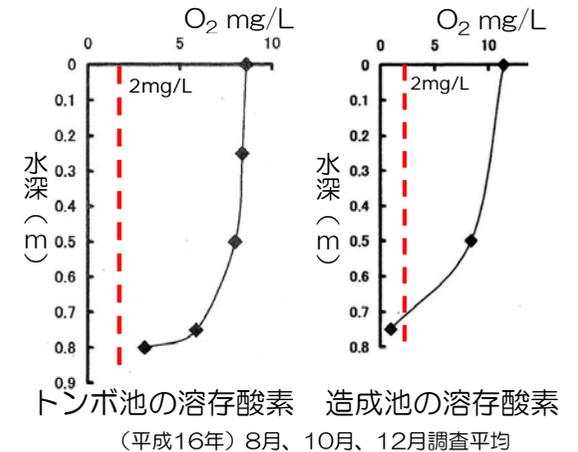
平成元年頃から地  
下水位の低下が原  
因と思われるトン  
ボ池の干上がりが  
時々みられるよ  
うになりました。

水位低下は、トン  
ボ類、水生植物等  
の生息・生育環  
境の悪化を引き起こす他、植物の生育域にも影響  
を及ぼす恐れがあります。



## 問題：水質の悪化

トンボ池と造成池では、池底の  
溶存酸素（水中に溶存する酸素  
のこと）が低下し、トンボ類の  
生息環境が悪化しています。  
水中の酸素は通常、水草の光合  
成等により提供されています。  
この溶存酸素が2mg/L以上ない  
と魚類をはじめとする水生動物  
は呼吸ができず、生息できな  
くとなると考えられています。



## トンボ池等湿地環境再生のために

環境の改善のために「トンボ池等湿地環境  
再検討会(仮称)」を設立します。

トンボ池等の再生のために市民、行政、学識経験者が協  
働して対策を検討し再生の実現を目指します。